取扱説明書 簡易取り付け型 **保管用**

(Y014A) E

yamada

蛍光灯シャンデリア

(天井付専用)

ご使用になられる前にお読みください

この取扱説明書は取り付け方やランプの交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

■仕　様

品　番	適合ランプ	使用電圧
LF-3453	E26 電球形蛍光ランプ　EFA(電球色)13Wまで×3灯	AC100V(±6%)
LF-3454・VLF-3454	E26 電球形蛍光ランプ　EFA(電球色)13Wまで×7灯	
LF-3498・VLF-3498	E26 電球形蛍光ランプ　EFA(電球色)13Wまで×4灯	

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警 告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注 意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
🚫　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

すぐ取り付けられます

角形／丸形／フル引掛シーリング

引掛埋込／引掛露出ローゼット

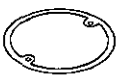
フル引掛ローゼット

配線器具の取付工事が必要です

配線だけの場合

付属の引掛シーリングを取り付けてください。

アウトレットボックスの場合



市販の引掛埋込ローゼットを取り付けてください。

⚠ 警　告

🚫 破損したりガタついている配線器具には取り付けないでください。(図1)
配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

(図1)　損傷しているもの

ガタつくもの

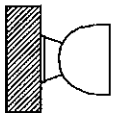
🚫 樹脂製ボックスカバーには取り付けないでください。
★器具の落下事故の原因となります。

❗ 付属の引掛シーリングボディーの取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工事が必要です。
電気店または工事店に依頼してください。　★一般の方の工事は法律で禁止されています。

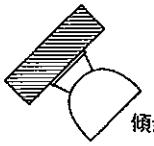
🚫 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿度の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

🚫 次のような場所には取り付けないでください。(図2)
★器具落下事故の原因となります。

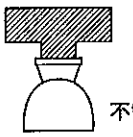
(図2)



壁　面

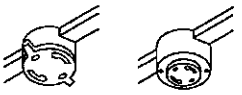


傾斜した場所

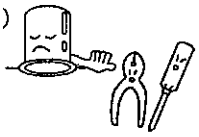


不安定な場所

ケースウェイにセットされている配線器具



🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。(図3)
★火災や感電事故の原因となります。



🚫 器具の下面を布などで覆わないでください。(図4)
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

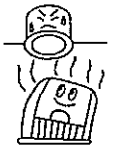
(図4)

⚠ 注　意

❗ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因となることがあります。低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。

❗ この器具は周辺温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

🚫 ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。



🚫 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

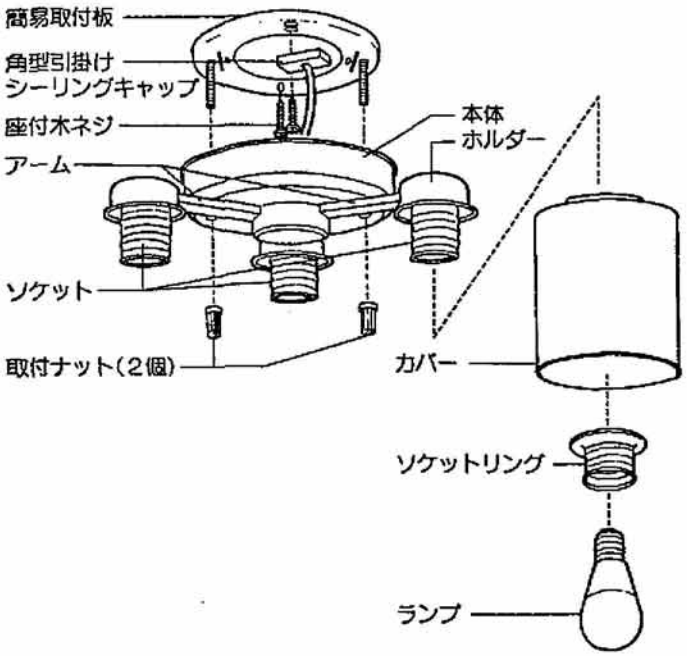
🚫 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

🚫 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯（チラつきや立ち消えなど）や調光器、照明器具の故障の原因となります。

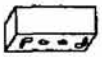
各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

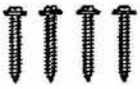
■器具構成図



■付属品


角形引掛けシーリングボディ・・・・・・・・・・1個

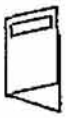
取り付けは、工事店または電器店にご依頼ください。


座付木ネジ（簡易取付板用）・・・・・・・・・・4本

木ネジ（シーリングボディ取付用）・・・・・・・・2本

ローゼット用ネジ・・・・・・・・・・・・・・・2本

E26 電球形蛍光ランプ EFA13Wまで（電球色）
LF-3453・・・・・・・・・3個
LF-3454・VLF-3454・・・・7個
LF-3498・VLF-3498・・・・4個

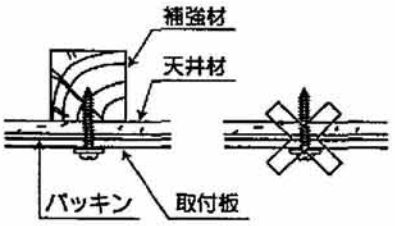

取扱説明書（本紙）・・・・・・・・・・・・・・1枚
保証とアフターサービス（別紙）・・・・・・・・・1枚

取り付け場所の確認

⚠ 警 告

❗ 簡易取付板は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

⚠ 注 意　建物の構造によっては、付属の木ネジで取り付けられないことがまれにあります。その様な場合には、器具取付場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。



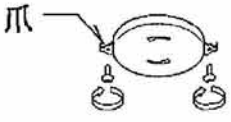
取り付け方　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警 告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

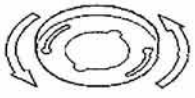
1.簡易取付板をセットします。

A：引掛ローゼットが天井に付いている場合

引掛ローゼットの爪を利用して取り付けます。



①引掛ローゼットの爪に、付属のローゼット用ネジを落ちない程度にねじ込みます。

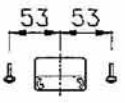


②取付板のダルマ穴にネジを通し、溝に沿って取り付け板を左に回転させます。

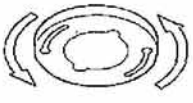
③ネジが溝の中央付近に来たらネジをしっかり締めて固定します。

B：引掛シーリングが天井についてる場合

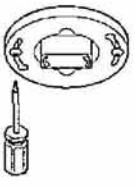
付属の座付き木ネジを利用して取り付けます。



①引掛シーリングを中心に、左右53㎜の位置に木ネジを3分の1ほどねじ込みます。

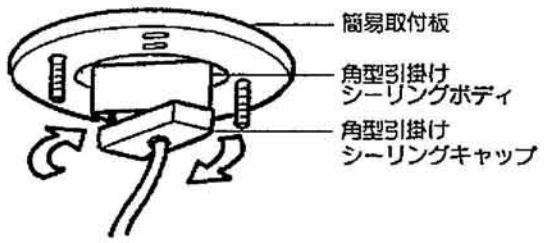


②取付板のダルマ穴にネジを通し、溝に沿って取り付け板を左に回転させます。



③ネジが溝の中央付近に来たらネジをしっかり締めて固定します。

(図1)



2.本体を取り付けます。(図1)

- 引掛けシーリングキャップを引掛けローゼットまたは、引掛けシーリングボディに差し込んで、時計方向に止まるまで回転させます。
- 本体を取付ナット(2個)で簡易取付板に固定します。

⚠注　意

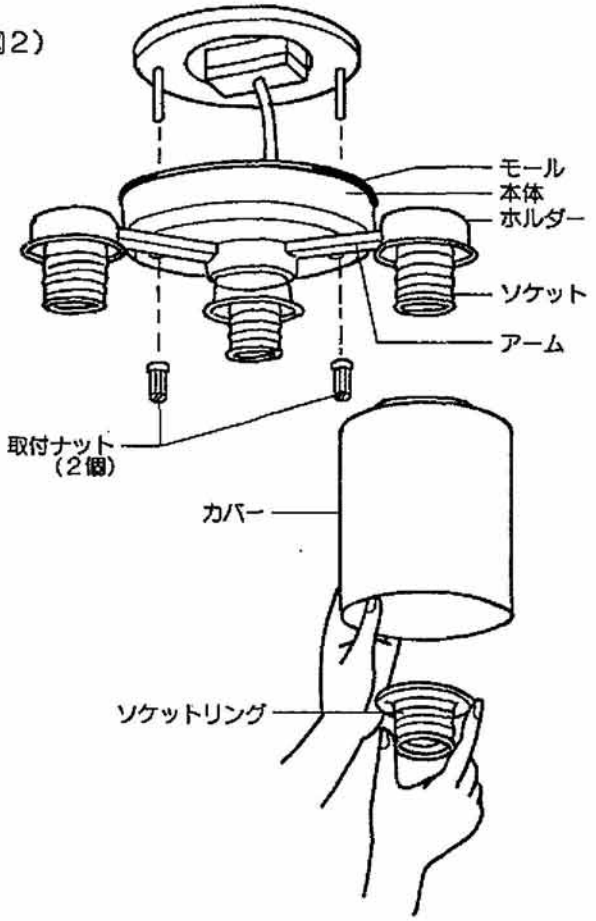
- 本体を持つときは、アームを持たないでください。

★本体などの破損などの事故の原因となります。

- 取付の際、本体に取り付けてあるモールを外しての取り付けは絶対にお止めください

❗必ずモールがついている状態で取り付けてください。

(図2)



3.カバーをセットします。(図2)

- カバーをホルダーに合わせ入れます。
- ソケットリングをソケットのネジ部にねじ込み固定します。

★カバーが傾いている場合は、ソケットリングをゆるめてカバーの位置をずらし締め直して調整します。

⚠注　意

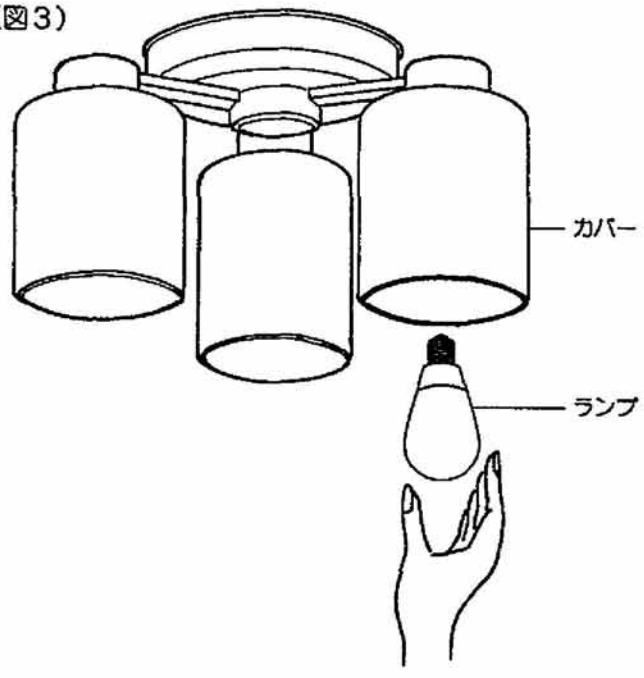
- ソケットリングは、必要以上に締め込まないでください。

★カバーの破損、落下の原因となります。

- ヒビの入ったカバーや、一部欠けているカバーは使用しないでください。ただちに新しいカバーと交換してください。

★カバーの落下事故の原因となります。

(図3)



4.ランプをセットします。(図3)

- カバーの下から手を差し入れて、ランプをソケットにねじ込みます。

⚠注　意

- ランプを乱暴に扱わないでください。

★ランプ割れ等の事故の原因となります。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON−OFF」操作を行います。

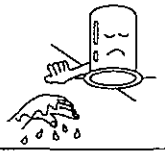
お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れてくると、暗くなり、しかも電気代は変らないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。
●ランプ交換について：ランプが黒化して明るさが低下しましたらランプの寿命です。器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠注　意

●ランプの交換やお手入れをするときは、必ずプラグを抜いてから行ってください。
★感電事故の原因となります。

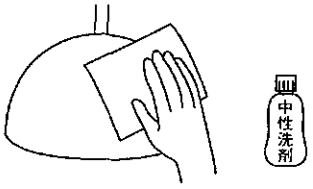
●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。



●ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると、異常過熱による火災の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

■お手入れのしかた

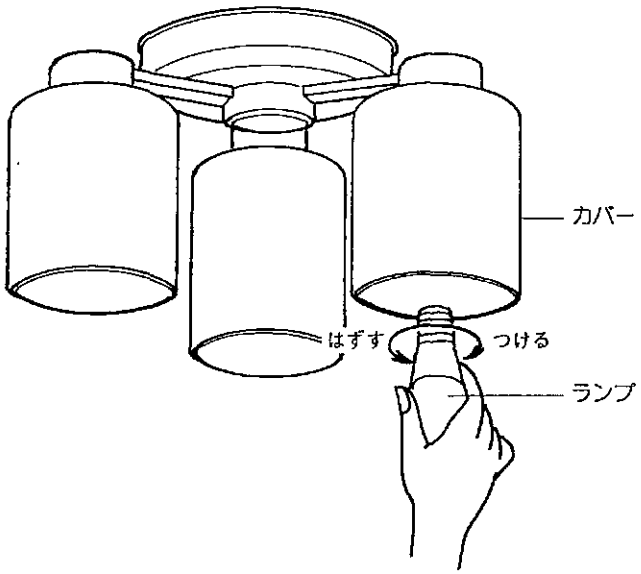
①スイッチを切ります。
②柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
③汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
④最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。

ランプの交換



1.スイッチを切ります。

⚠注　意
●ランプ交換時、濡れた手でさわらないでください。
★感電の恐れがあります。

2.ランプを交換します。

●カバーの下から手を差し入れてランプを交換します。

⚠注　意
●ランプ交換時、濡れた手でさわらないでください。
●ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプ割れ等の事故の原因となります。
●ランプを交換する際、カバーががたついていないか確認してください。
ガタつきがある場合には、ソケットリングを締め直してカバーを固定してください。
★カバーの破損、落下の原因となります。
●カバーにヒビが入っていたり、一部が欠けている場合には、ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの破損、落下の原因となります。